

10 地域支援事業

地域支援事業は、被保険者が要介護状態又は要支援状態となることを予防するとともに、社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的に実施している。

介護予防・日常生活支援総合事業は、①介護予防訪問介護等を移行し、要支援者等に対して必要な支援を行う介護予防・生活支援サービス事業（介護保険法第115条の45第1項第1号）と、②第1号被保険者に対して体操教室等の介護予防を行う一般介護予防事業（介護保険法第115条の45第1項第2号）から構成され、文京区においては、平成28年10月1日から事業を開始した。

1 介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 総合サービス事業（文京区における介護予防・生活支援サービス事業の名称）

総合サービス事業は、要支援者等の多様な生活支援ニーズに対応するため、①調理、洗濯、掃除等の日常生活に支障をきたしている場合に、自立した生活を送ることを目指す支援を行う「訪問型サービス」、②食事、入浴、その他必要な日常生活上の支援や機能訓練等を日帰りで提供し、心身機能の維持向上を図る「通所型サービス」、③利用者の個別性に応じた包括的なプログラムを短期間に集中して行うことにより、生活機能の維持又は向上を目指す「短期集中予防サービス」、④これらのサービス等が適切に提供できるようケアマネジメントを行う「介護予防ケアマネジメント」等により構成される。

①訪問型・通所型サービス

ア サービス提供事業所指定の状況

訪問型サービス、通所型サービスを提供する事業所数は次のとおりである。

(各年度末現在 単位：件)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
訪問型サービス	46	45	44	42	39
通所型サービス	68	65	65	63	59

※休止中の事業所を除く。

イ サービス利用状況

要支援者等の心身の状況や置かれている環境等の状況に応じ、総合サービス事業における訪問型及び通所型サービスその他の適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう、必要な支援を行っている。

		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
訪問型サービス	人数(人)	4,850	4,509	4,546	4,420	4,330
	回数(回)	25,624	23,607	24,084	23,601	23,074
	給付費(円)	83,044,443	77,482,891	78,674,320	76,408,004	76,505,402
通所型サービス	人数(人)	9,136	8,172	7,448	7,110	7,452
	回数(回)	48,483	43,546	40,808	38,060	38,488
	給付費(円)	231,798,208	194,969,625	194,130,428	184,309,125	190,176,815
介護予防ケアマネジメント費	人数(人)	8,400	6,596	6,795	6,499	6,679
	回数(回)	—	—	—	—	—
	給付費(円)	42,807,386	33,256,897	35,153,896	33,798,671	34,681,336
合計	人数(人)	22,386	19,277	18,789	18,029	18,461
	回数(回)	74,107	67,153	64,892	61,661	61,562
	給付費(円)	357,650,037	305,709,413	307,958,644	294,515,800	301,363,553

※総合サービス事業は、平成29年10月1日より予防給付から完全に移行した。

※他保険者で実施した総合事業分も含む。

※介護予防ケアマネジメント費は、短期集中予防サービス（介護予防事業）に係る介護予防ケアマネジメント費を含む。

②短期集中予防サービス（プログラム事業）

基本チェックリストにより生活機能等の低下が見られる方に対し、要介護状態になることを予防するために実施している。

ア 事業内容

事業名	内容
複合型プログラム事業 ・まるごと元気！筋力アップ体操教室 ・まるごと元気！マシン運動教室	理学療法士等の指導により、筋力トレーニング、バランストレーニング、有酸素運動、ストレッチなどを実施する。併せて管理栄養士及び歯科衛生士の指導により、低栄養予防及び口腔機能維持向上を目的とした講義等を行い、生活機能の向上を目指す。
訪問型プログラム事業	介護予防ケアマネジメントを実施し、事業の必要があるとされた場合に、専門職が訪問して、自宅における運動指導と生活環境調整を行う。

イ 事業実績

(単位：人)

事業名	参加者数				
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
まるごと元気！筋力アップ体操教室	179	47	137	136	193
まるごと元気！マシン運動教室	70	9	17	26	28
訪問型プログラム事業	0	0	0	1	0
計	249	56	154	163	221

※2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員削減、中止回あり。

※3年度及び4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員削減。

(2) 一般介護予防事業

①介護予防把握事業

平成 24 年度から平成 27 年度まで、介護認定を受けていない 65 歳以上の高齢者を対象に「健康質問調査票（基本チェックリスト）」を送付し、調査票から高齢者の生活機能を評価して、「プログラム事業（二次予防事業）対象者」を決定した。

平成 27 年度の、国の介護予防・日常生活支援総合事業のガイドラインにおいて、健康質問調査票は、必ずしも全件送付する位置づけではなくなったが、本区の 85 歳以上の要介護認定率の実績を踏まえ、平成 28 年度以降も健康質問調査票の送付による調査を継続し、介護予防の取組を促している。なお、調査票送付対象年齢以外の高齢者でも体力等が心配な場合は、高齢者あんしん相談センターで基本チェックリストを受けることが可能である。

基本チェックリストを受けた方には、その結果に応じて高齢者あんしん相談センターが介護予防ケアマネジメントを行い、適切な事業等に勧奨して、要介護状態になることを未然に防ぐための事業展開を図っている。

【健康質問調査票（基本チェックリスト）送付実績】

(単位：人)

	調査票 発送者数	調査票 有効回答者数	プログラム事業 対象者数	プログラム事業 参加者実人数
元年度	4,477	2,063	502	249
2 年度	3,923	2,089	512	56
3 年度	11,841	8,162	2,093	154
4 年度	6,959	4,746	1,212	163
5 年度	7,595	5,039	1,244	221

※対象者（介護認定を受けていない方で、当該年 4 月 1 日現在の年齢に基づき決定）

元年度及び 2 年度は、75 歳以上 84 歳以下の方のうち、前年度までの調査に回答していない方

3 年度は、75 歳以上 84 歳以下の方

4 年度及び 5 年度は、75 歳以上 85 歳以下の方のうち、奇数年齢の方

②介護予防普及啓発事業

高齢者が閉じこもりや要介護状態になることを予防するため、地域の身近な施設で各種教室を実施している。また、介護予防に関する知識とその重要性を理解してもらうため、講演会等を実施している。

ア 介護予防教室等

(単位：人)

事業名	参加者数				
	元年度	令2年度	3年度	4年度	5年度
文の京介護予防体操教室	25	20	—	—	—
文の京介護予防体操地域会場	972	326	632	677	567
文の京介護予防体操 (東京大学ふみのみやこ倶楽部)	20	—	—	15	15
文の京介護予防体操 (筑波大学附属盲学校ふみのみやこ)	16	—	—	—	—
ひざ痛予防教室	33	9	26	25	37
腰痛予防教室	62	20	23	38	38
転ばナイス教室	57	20	80	79	80
転倒骨折予防教室 口腔機能向上教室	150	95	90	118	109
尿失禁予防教室	38	16	42	54	73
口腔機能向上教室 (保健サービスセンター)	55	—	17	36	66
脳の健康教室	142	—	健康脳トレ教室へ移行		
健康脳トレ教室	脳の健康教室から移行		76	76	89
健康マージャン教室	65	—	—	25	30
脳活エクササイズ教室	57	18	44	60	60
健康音楽教室	140	—	68	72	79
若返りパワーアップ教室	58	20	47	59	60
パワーアップマシン教室	57	38	48	53	56
いきいき壱岐坂元気力アップ教室	38	7	13	40	40
シニアのためのフィットネス教室	—	—	—	952	1,574
計	1,985	589	1,206	2,379	2,973

※2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員削減、中止回あり。

※4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員削減。

イ 介護予防講演会及び講座

(単位：人)

	回次	テーマ	演題	参加者数	計
元年度	1	睡眠	心地よい眠りで健康を	138	296
	2	フレイル全般	老年学者が考えた健康寿命の延ばし方	100	
	3	オーラルフレイル	知っていますか？オーラルフレイル	58	
2年度	1	フレイル全般	健康長寿と支え合いのまちづくり	48	48
3年度	1	フレイル全般	老年学者が考えた、コロナ禍におけるフレイル予防術	53	95
	2	フレイル全般	ウィズコロナ時代における健康維持の秘訣	42	
4年度	1	認知症予防	認知症最前線 人生100年時代の予防とケア	97	163
	2	フレイル全般	健康長寿と幸福長寿のまちづくり フレイルに立ち向う	66	
5年度	1	フレイル全般	いつまでも住み慣れた文京区で暮らし続けるために ～日常生活のちょい足しポイント～	93	162
	2	オーラルフレイル	専門家に聞く！いつまでも元気で楽しく口から食べるには	69	

※2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員削減、中止回あり。

※3年度及び4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員削減。

ウ その他の事業

(単位：人)

事業名	参加者数				
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
介護予防展	—	336	436	546	783
介護予防出前講座	93	24	73	23	10

※元年度介護予防展は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。

※2年度及び3年度介護予防展は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して実施。

③地域介護予防活動支援事業

ア 介護予防ボランティア指導者等養成事業

身近な地域において介護予防を推進するため、体操等の指導及び普及啓発を行う区民ボランティアを養成するとともに、高齢者等の社会参加の場の推進を図っている。

介護予防推進リーダー育成のための養成講座及びスキルアップ研修会等参加者数 (単位：人)

事業名	参加者数				
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
文の京介護予防体操推進リーダー養成	194	209	73	67	61
転倒骨折予防ボランティア指導員養成	6	6	10	20	23
計	200	215	83	87	84

イ 地域介護予防活動支援事業（通いの場）

介護予防のための体操等とともに、住民同士の助け合い・支え合う活動を推進するため、実施する団体に補助金を交付している。（社会福祉協議会事業）

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
かよい～の数	28 か所	26 か所	26 か所	28 か所	32 か所

2 包括的支援事業

（1）高齢者あんしん相談センターの設置及び運営

高齢者あんしん相談センターは、高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活が続けられるよう、心身の健康の維持、保健・福祉・医療の向上等、生活の安定のために必要な相談・支援を包括的かつ継続的に行う中核機関として、地域住民一人ひとりに対する個別的なサービスの調整や、地域ネットワークの構築・再生、また、地域住民の様々なニーズに応える高齢者福祉の拠点となることを目的としている。

①高齢者あんしん相談センターの設置

（令和6年4月1日現在）

日常生活圏域	名称	所在地	運営法人※
富坂地域	高齢者あんしん相談センター富坂	白山5-16-3	社会福祉法人福音会
	高齢者あんしん相談センター富坂分室	小石川2-18-18	
大塚地域	高齢者あんしん相談センター大塚	大塚4-50-1	社会福祉法人洛和福祉会
	高齢者あんしん相談センター大塚分室	音羽1-15-12	
本富土地域	高齢者あんしん相談センター本富士	本郷2-40-11	医療法人社団龍岡会
	高齢者あんしん相談センター本富士分室	西片2-19-15	
駒込地域	高齢者あんしん相談センター駒込	千駄木5-19-2	社会福祉法人桜栄会
	高齢者あんしん相談センター駒込分室	本駒込2-28-10	

※高齢者あんしん相談センターの設置、運営は、上記運営法人に委託している。

②高齢者あんしん相談センターの運営

(単位：人)

センター		富坂本所・分室	大塚本所・分室	本富士本所・分室	駒込本所・分室
高齢者人口		13,771	9,767	9,484	10,570
職員	社会福祉士	8	6	5	5
	保健師・看護師	3	5	6	7
	主任ケアマネ	3	3	3	2
	その他	1	0	0	1
職員数計		15	14	14	15

※令和6年4月1日現在の職員数

※高齢者人口は令和5年9月1日現在

窓口開設時間

	窓口開設時間
4センター (分室を除く。)	月曜～金曜：午前9時～午後7時
	土・日・休日：午前9時～午後5時30分（年末年始を含む。）
分室	月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（日・祝日・年末年始を除く。）

③主な業務内容

高齢者あんしん相談センターは、保健師（又は経験のある看護師）、社会福祉士、主任ケアマネジャーの専門資格を持った職員が、それぞれの専門知識を活かして連携チームをつくり、次の業務を行う。

ア 高齢者の総合相談支援、権利擁護

高齢者や介護する家族のための総合相談・支援、高齢者虐待の防止・早期発見などの権利擁護に関する相談・支援、認知症高齢者等を地域で見守り、声かけ等を行うネットワークの推進等を社会福祉士が中心となって行う。

イ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者が介護保険のサービスを始めとする様々な介護サービスを適切に利用できるよう、地域のケアマネジャーからの日常相談に応ずるとともに、最新情報の提供や地域ケア会議等も活用し、ケアマネジャーに対する後方支援を主任ケアマネジャーが中心となって継続的に行う。

ウ 介護予防ケアマネジメント

総合サービス事業の対象者に対して、要介護状態等となることの予防又は要支援状態等の軽減若しくは悪化の防止と地域における自立した日常生活の支援のために、保健師（又は経験のある看護師）が中心となり、介護予防ケアマネジメントを実施する。なお、プログラム事業対象者に対しては、プログラム事業への参加を勧奨し、同意された方には、一人ひとりに合った効果的なサービスの利用が実現できるよう総合調整を行う。

エ その他

認知症高齢者の介護をする家族等に対して介護方法や各種サービスの情報提供等を行う「認知症介護教室」等の開催や熱中症対策事業、一体的に医療と介護サービスを受けられるよう医療と介護の連携を行う「医療連携相談業務」、介護保険の申請受付、区の高齢者福祉サービスの申請取次ぎ等を行う。

④令和5年度の主な実績

ア 総合相談業務

令和5年度に高齢者あんしん相談センターは、区内の高齢者等 43,592 人に対し延べ 42,377 件の相談・支援を行った。一人当たりの相談回数は、平均で約 4.6 回であった。

(ア) 相談実人数

(単位：人)

年度	富坂	分室	大塚	分室	本富士	分室	駒込	分室	計
元年度	1,913	1,135	1,592	1,132	1,263	944	1,746	999	10,724
2年度	1,697	1,907	1,900	946	1,065	673	1,833	668	10,689
3年度	1,690	1,377	1,218	1,169	1,041	692	1,408	884	9,479
4年度	1,526	1,245	1,157	1,144	1,203	633	1,516	990	9,414
5年度	1,625	1,389	1,186	1,197	1,154	685	1,366	969	9,571

※2年度実績のみ、見守り相談窓口実績を含む。

(イ) 総相談件数

(単位：件)

年度	富坂	分室	大塚	分室	本富士	分室	駒込	分室	計
元年度	6,718	2,673	7,225	4,965	4,582	4,466	5,619	3,038	39,286
2年度	6,791	4,903	8,335	4,740	5,445	3,795	5,707	2,351	42,067
3年度	7,258	3,450	5,284	5,456	5,027	3,743	4,291	2,674	37,183
4年度	7,357	4,278	5,435	4,660	6,467	4,391	3,715	3,670	39,973
5年度	7,312	4,876	5,359	5,316	6,702	5,165	4,137	3,510	42,377

※2年度実績のみ、見守り相談窓口実績を含む。

(ウ) 相談方法別相談件数 (令和5年度の内訳)

(単位：件)

相談方法	富坂		大塚		本富士		駒込		計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
電話	6,307	51.7%	5,825	54.6%	7,622	64.2%	2,912	38.1%	22,666	53.5%
訪問	3,264	26.8%	2,409	22.6%	2,187	18.4%	2,252	29.4%	10,112	23.9%
来所	1,646	13.5%	2,064	19.3%	1,644	13.9%	2,239	29.3%	7,593	17.9%
その他	971	8.0%	377	3.5%	414	3.5%	244	3.2%	2,006	4.7%
計	12,188	100.0%	10,675	100.0%	11,867	100.0%	7,647	100.0%	42,377	100.0%

※分室を含む。

(エ) 相談者内訳 (センター計)

(単位: 件)

相談者	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
本人	18,762	20,742	17,253	17,276	19,831
親族	8,605	8,793	7,837	9,333	9,628
ケアマネジャー	3,677	3,383	3,553	3,655	3,883
サービス事業者	2,710	2,892	2,587	2,670	2,981
医療機関	1,839	2,065	1,942	2,104	2,275
行政 (区、社協等)	1,430	1,624	1,310	1,740	1,411
知人・友人・近隣・管理人等	899	1,028	819	1,063	699
民生委員・話し合い員等	407	447	400	390	321
不明 (匿名等)	957	1,093	1,482	1,742	1,348
計	39,286	42,067	37,183	39,973	42,377

※ 2年度実績のみ、見守り相談窓口実績を含む。

(オ) 相談内容

(単位: 件)

相談内容		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
総合相談	介護保険 (予防給付)	15,359	16,952	16,848	18,280	19,888
	介護保険 (介護給付)	10,399	9,926	10,247	12,227	12,098
	医療・保健	4,403	4,485	4,095	4,200	4,750
	認知症	3,555	3,253	2,943	3,200	4,452
	住宅改修・福祉用具	1,945	1,721	1,894	2,479	2,393
	区のサービス	1,169	1,727	1,211	1,371	1,435
	精神疾患	999	738	638	603	850
	民間サービス	513	502	546	542	695
	施設 (介護保険)	430	534	329	514	564
	経済問題	382	433	296	543	525
	住宅問題	406	453	325	273	293
	家庭問題	531	441	490	478	554
	家庭問題 (ひきこもり)			37	49	15
	施設 (民間施設)	326	275	303	319	500
	身体障害関係	77	95	97	111	128
	社会福祉協議会	95	151			
	施設 (ケアハウス・軽費)	9	9	11	6	11
	ハートフルからの情報提供			24	31	18
	状況確認	12,035	16,945	11,910	14,175	15,818
権利擁護	虐待のおそれ・疑い	494	286	277	284	356
	成年後見	366	289	244	295	298
	虐待	52	32	63	23	35
	消費者被害	74	59	33	48	29

(単位：件)

相談内容		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
ケアマネ ジメント 支援	ケアマネ個別相談	74	69	42	36	76
	サービス担当者会議	56	53	29	19	23
介護予防 ケアマネ ジメント	事業参加勸奨	949	175	397	591	825
	総合サービス事業	3,440	1,531	1,499	1,238	1,168
	一次予防事業	30	29	67	40	30
	予防給付	104	83			
他機関と の連携	社会福祉協議会			39	35	68
	障害者基幹相談支援センター			4	2	4
	ひきこもり支援センター			0	1	0
	医療連携			106	224	192
その他		127	253	202	229	207
計		58,399	61,499	55,256	62,466	68,298

※相談内容が複数の項目に該当する場合は、複数の項目を該当させているため合計とは一致しない。

※3年度よりシステム改修があったため、項目の一部を変更。

※2年度実績のみ、見守り相談窓口実績を含む。

(カ) 相談対応

(単位：件)

相談対応	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
説明・助言・情報提供	25,520	24,676	22,892	23,910	24,776
状況報告・状況確認	17,006	18,723	16,813	19,950	22,696
本人・関係者との調整	8,444	8,578	8,389	9,082	10,137
申請取次・受付・調査	5,033	4,109	4,947	5,510	5,082
困難ケース対応	159	140	172	115	153
緊急時対応	91	75	80	81	92
カンファレンス開催	44	43	28	29	48
カンファレンス出席	66	46	56	60	86
苦情対応	26	11	22	24	17
障害者控除認定			2	1	1
その他（傾聴等）	122	708	311	88	88
計	56,511	57,109	53,712	58,850	63,176

※相談対応が複数の項目に該当する場合は、複数の項目を該当させているため合計とは一致しない。

※3年度よりシステム改修があったため、項目の一部を変更。

※2年度実績のみ、見守り相談窓口実績を含む。

(キ) 困難ケース対応

(単位：件)

対応内容	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
受診説得	3	3	9	1	5
サービス拒否	12	5	13	8	9
認知症等	57	62	71	33	38
身体清拭	5	1	0	2	0
受診・入所支援	48	47	49	43	66
食事支援	9	7	8	11	3
室内清掃	9	2	9	3	3
後見支援	16	13	13	14	29
計	159	140	172	115	153

(ク) 緊急対応

(単位：件)

対応内容	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
徘徊対応	2	1	3	4	3
虐待対応	5	11	6	13	13
救急搬送	36	36	26	18	36
安否確認	45	26	29	27	33
緊急呼出	3	1	5	2	2
ワクチン接種支援			3	2	2
緊急一時入所事業			8	15	3
計	91	75	80	81	92

(ケ) 実態把握調査

高齢者あんしん相談センターは、地域の高齢者の心身の状況や家庭環境等の実態の把握に努めている。高齢者が相談に来所した際、訪問や電話等、様々な手段により実態把握を行っている。

【実態把握調査実施状況】

(単位：件)

センター	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
富坂	1,369	1,398	1,598	1,847	1,855
大塚	1,354	1,400	1,236	1,365	1,530
本富士	865	659	641	497	467
駒込	1,579	1,349	1,562	1,833	1,858
計	5,167	4,806	5,037	5,542	5,710

※分室を含む。

イ ケアマネジメント支援・医療連携の取組

(ア) ケアマネジメント従事者研修の開催

高齢者あんしん相談センターが中心となり、ケアマネジャーのスキルアップを目的としている。

(単位：人)

	テーマ	内容	参加者
元年度	本人の意思決定の支援について (本人に寄り添う介護のために)	ヒューマンネットワーク 三森法律事務所 弁護士 三森 敏明 氏	64
2年度	自立支援における意思決定支援とACP	(株)ケアーズ 東久留米訪問看護ステーション 所長 中島 朋子 氏	39
3年度	精神疾患(本人・家族を含む)へのチーム アプローチとケアマネジャーの役割	順天堂大学附属順天堂東京江東高齢者医療 センター メンタルクリニック 古田 晶子 氏	37
4年度	介護サービス利用者及び家族の複合的課題 ～課題解決に向けた家族支援と連携のポ イント～	独立行政法人日本学術振興会特別研究員 精神保健福祉士、社会福祉士 戸井田 晴美 氏	49
5年度	介護支援専門員のメンタルヘルス ～マインドフルネスなど感情コントロール 等のメソッドを学ぶ～	本郷ファミリークリニック 院長 吉田 有法 先生	61

(イ) 各高齢者あんしん相談センターの取組

(単位：人)

センター	名称	内容	参加者
富坂	富坂ケアマネジメント 勉強会	事例検討会「精神症状がみられるのに、適切に医療につながら ないケース」	9
		事例テーマ「ごみ屋敷となりつつあるご自宅、ケアマネジャ ーとしてどのように対応していくか」	12
		事例テーマ「支援者からの提案・声掛けを聞いてもらえない Aさん」	7
大塚	ケアマネ質の向上研 修つくり会	4月からの制度改正や文京区の介護保険以外のサービスにつ いて	21
		虐待対応ケースのケアマネジャーの役割について	21
		介護保険と障害制度について	29
	主任ケアマネ連絡会	(1) 車いすステーション事業について (2) ケアプランデータ連携参加事業所の報告	16
		令和6年度介護報酬改定事項について等	20
本富士	ケアマネ交流会	テーマ「文京区の自宅で生活を続けたい」	38
		テーマ「母娘共存状態でも長時間24時間介護を続ける成人ケ アラーへの支援」	26
	本富士地区ケアマネ 交流会(ケアマネす きっと会)	ケースについて情報交換等	12
			211

(ウ) 医療連携相談の状況

【相談数】

(単位：件)

相談者	元年度		2年度		3年度		4年度		5年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
病院	897	41.5%	955	48.2%	784	49.8%	945	52.9%	1,008	51.7%
家族	464	21.5%	336	17.0%	269	17.1%	267	15.0%	223	11.4%
本人	324	15.0%	245	12.4%	208	13.2%	206	11.5%	210	10.8%
診療所	230	10.6%	249	12.6%	213	13.5%	243	13.6%	381	19.5%
その他	161	7.5%	139	7.0%	68	4.3%	90	5.0%	88	4.5%
ケアマネ	84	3.9%	58	2.9%	33	2.1%	34	1.9%	40	2.1%
計	2,160	100.0%	1,982	100.0%	1,575	100.0%	1,785	100.0%	1,950	100%

【支援内容】

(単位：件)

支援内容	元年度		2年度		3年度		4年度		5年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
退院支援	1,139	52.7%	921	46.5%	660	41.9%	753	42.2%	762	39.1%
在宅支援	838	38.8%	755	38.1%	724	46.0%	773	43.3%	936	48.0%
その他	183	8.5%	306	15.4%	191	12.1%	259	14.5%	252	12.9%
計	2,160	100.0%	1,982	100.0%	1,575	100.0%	1,785	100.0%	1,950	100.0%

ウ 介護予防

(ア) 介護予防ケアマネジメントの状況（短期集中予防サービス）（分室を含む。）（単位：件）

	元年度					2年度				
	富坂	大塚	本富士	駒込	計	富坂	大塚	本富士	駒込	計
事業対象者数	173	118	97	114	502	160	96	129	127	512
事業参加勧奨数	184	256	151	312	903	50	68	23	37	178
ケアプラン作成数	34	47	24	70	175	8	21	11	12	52
ケアプラン作成比	19.7%	39.8%	24.7%	61.4%	34.9%	5.0%	21.9%	8.5%	9.4%	10.2%

	3年度					4年度				
	富坂	大塚	本富士	駒込	計	富坂	大塚	本富士	駒込	計
事業対象者数	687	434	464	508	2,093	383	229	296	304	1,212
事業参加勧奨数	38	98	41	115	292	171	148	83	190	592
ケアプラン作成数	18	50	21	48	137	24	60	27	52	163
ケアプラン作成比	2.6%	11.5%	4.5%	9.5%	6.5%	6.3%	26.2%	9.1%	17.1%	13.4%

	5年度				
	富坂	大塚	本富士	駒込	計
事業対象者数	416	281	255	292	1,244
事業参加勧奨数	132	320	60	236	748
ケアプラン作成数	52	62	25	72	211
ケアプラン作成比	12.5%	22.1%	9.8%	24.7%	17.0%

※3年度は、全件調査（3年に1回）のため、対象者の把握件数が多い。元年度、2年度は、前年未回答者や新たに75歳になった方、4年度、5年度は奇数年齢の方を対象に把握を行った。

(イ) 予防給付及び総合事業ケアマネジメントの実施状況（短期集中予防サービスを除く。）

【要支援1・2認定者及び事業対象者に対するケアプラン】

(単位：件)

			元年度					2年度				
			富坂	大塚	本富士	駒込	合計	富坂	大塚	本富士	駒込	合計
相談件数			4,339	4,362	3,994	2,664	15,359	4,269	6,301	3,995	2,694	17,259
総合事業	包括	新規	78	34	44	58	214	51	50	29	61	191
		継続	2,046	1,150	1,329	1,568	6,093	1,958	1,129	1,105	1,508	5,700
	委託	新規	0	8	6	7	21	0	4	5	8	17
		継続	0	126	174	90	390	0	139	107	125	371
予防給付	包括	新規	70	44	50	45	209	56	50	53	32	191
		継続	2,301	1,468	1,421	1,368	6,558	2,663	1,709	1,709	1,555	7,636
	委託	新規	0	10	9	6	25	0	6	16	5	27
		継続	11	142	247	113	513	12	196	404	159	771
新規計			148	96	109	116	469	107	110	103	106	426
継続計			4,358	2,886	3,171	3,139	13,554	4,633	3,173	3,325	3,347	14,478
プラン数計			4,506	2,982	3,280	3,255	14,023	4,740	3,283	3,428	3,453	14,904
構成比			32.1%	21.3%	23.4%	23.2%	100%	31.8%	22.0%	23.0%	23.2%	100%
委託先事業所数 (3月実績)			11 (1)	83 (9)	179 (17)	128 (11)	401 (38)	12 (1)	113 (11)	232 (23)	148 (14)	505 (49)

			3年度					4年度				
			富坂	大塚	本富士	駒込	合計	富坂	大塚	本富士	駒込	合計
相談件数			4,744	5,650	4,315	2,139	16,848	5,414	5,870	5,929	2,384	19,597
総合事業	包括	新規	79	47	45	46	217	88	43	49	56	217
		継続	1,749	1,232	942	1,544	5,467	1,781	1,018	890	1,383	5,467
	委託	新規	0	10	2	10	22	1	3	2	8	22
		継続	0	158	137	166	461	2	191	113	165	461
予防給付	包括	新規	47	45	41	29	162	68	41	54	41	162
		継続	2,517	1,814	1,653	1,668	7,652	2,537	1,844	1,670	1,554	7,652
	委託	新規	0	8	6	2	16	1	8	4	7	16
		継続	0	2	478	164	644	4	287	320	166	644
新規計			126	110	94	87	417	158	95	109	112	417
継続計			4,266	3,206	3,210	3,542	14,224	4,324	3,340	2,993	3,268	13,925
プラン計			4,392	3,316	3,304	3,629	14,641	4,482	3,435	3,102	3,380	14,399
構成比			30.0%	22.6%	22.6%	24.8%	100%	31.1%	23.9%	21.5%	23.5%	100%
委託先事業所数 (3月実績)			2 (0)	128 (12)	264 (20)	157 (11)	551 (43)	8 (2)	140 (12)	208 (18)	113 (11)	469 (43)

			5年度				
			富坂	大塚	本富士	駒込	合計
相談件数			5,628	6,241	6,827	2,360	21,056
総合事業	包括	新規	78	32	51	56	217
		継続	1,922	993	938	1,373	5,226
	委託	新規	0	6	1	7	14
		継続	1	163	108	128	400
予防給付	包括	新規	111	60	81	55	307
		継続	2,560	2,028	1,927	1,576	8,091
	委託	新規	0	14	9	8	31
		継続	24	339	308	141	812
新規計			189	92	132	111	524
継続計			4,482	3,635	2,865	2,949	13,931
プラン計			4,697	3,811	3,423	3,344	15,275
構成比			30.7%	25.0%	22.4%	21.9%	100%
委託先事業所数 (3月実績)			26 (2)	138 (9)	188 (14)	111 (11)	463 (36)

※プラン作成数は、各センターの例月の請求データにより実施月で集計した。

※ケアプランは、ケアプランに位置付けられた期間中、毎月作成する必要がある。そのため、最初に作成したプランを新規プラン、翌月以降のプランを継続プランとして計上している。

※総合サービス事業開始により、訪問型サービス及び通所型サービスのみのプランは介護予防ケアマネジメント、それ以外は従来どおり予防給付の介護予防支援となる。

※要支援者等のケアプランは、区に登録した居宅介護支援事業所に作成を委託することができる。

エ 地域におけるネットワーク作り（ハートフルネットワーク）

（ア）ハートフルネットワークの拡充

高齢者あんしん相談センターが中心となり、地域において高齢者を見守り、支援するためのネットワークである。令和5年度末の協力機関数は680件となった。

【文京区ハートフルネットワーク協力機関】

団体協力機関	町会、民生委員・児童委員、話し合い員、高齢者クラブ、介護相談協力薬局・薬店
民間協力機関	新聞販売店、配食サービス事業者、生活協同組合、東京電力、東京ガス、郵便事業、郵便局、文京浴場組合、牛乳販売店、商店街、東京都茶協同組合文京支部、東京都電機商業組合文京支部、東京和生菓子商工業協同組合、NPO法人、マッサージ店、金融機関など
公共協力機関	医師会、歯科医師会、東京都柔道整復師会文京支部、警察署、消防署、水道局、社会福祉協議会、シルバー人材センターなど
区関係課	高齢者あんしん相談センター、地域活動センター、高齢福祉課、障害福祉課、生活福祉課、介護保険課、福祉センター、保健所、保健サービスセンター、消費生活センター、清掃事務所など

(イ) 安心ネット連絡会の開催

ハートフルネットワークが地域で効果的に機能するよう、協力機関の代表等を集めて、高齢者あんしん相談センターの主催により、民生委員・児童委員、話し合い員、町会連合会、高齢者クラブ、介護相談協力薬局・薬店、警察署、消防署、高齢者あんしん相談センター、社会福祉協議会及び区（高齢福祉課、地域活動センター）で構成される安心ネット連絡会を開催している。

6月の民生委員・児童委員との会合を含め、高齢者あんしん相談センターごとに、年に2回開催している。

令和5年度 安心ネット連絡会開催状況

安心ネット連絡会は、民生委員、話し合い員、高齢者クラブ、介護保険相談協力薬局・薬店、町会、警察署、消防署、社会福祉協議会、地域活動センター、高齢福祉課、議題に応じて高齢者あんしん相談センターが招集したハートフルネットワーク関係機関等により構成されている。

【5年度 安心ネット連絡会】

(単位：人)

センター	検討内容	出席者
富坂	(1) 日頃の防災についての情報共有 ①日頃の防災についてのポイント 小石川消防署 奥墨 光住 氏 ②文京区 防災クイズをやってみよう 10問出題 (2) 事例検討・意見交換 事例「騒音被害を繰り返し訴える方の支援」	38
大塚	(1) 安心ネット連絡会小会議内容報告 (2) 事例共有、グループワーク	34
本富士	(1) テーマ「認知症になっても安心して地域で生活するためには」 ①文京区の認知症に関する制度の紹介 ②本富士地区における認知症の方の対応と事例 ③朝日信用金庫より事例紹介 (2) グループワーク「認知症が疑われる方に対して、自身の立場からの関わり方」	28
駒込	(1) 日ごろの見守り活動等の報告と意見交換	30

【5年度 民生委員との連絡会】

(単位：人)

センター	検討内容	出席者
富坂	(1) 令和4年度 富坂地区民生委員活動の報告 (2) 高齢者あんしん相談センターの事業報告および役割について (3) 地域連携の事例発表	50
大塚	(1) 職員紹介 (2) 新就任民生委員紹介 (3) 事例検討 ①社協や地域医療と連携を取った事例 ②9060問題で関わった事例 (4) 情報共有、実際の困り事、連携のポイント等について	45

センター	検討内容	出席者
本富士	1. 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）について （1）高齢者あんしん相談センターとは （2）介護保険制度について （3）認知症への取り組み 2. 令和5年度熱中症予防啓発について	39
駒込	情報交換会	37

(ウ) 講座開催・出張講座等の実施状況

高齢者あんしん相談センターは、センターの周知や、介護保険を始め様々な高齢者サービスの紹介、高齢者を支えるネットワークづくりのために、講座開催や出張講座、地域における会合等に積極的に取り組んでいる。

(単位：人)

センター	講座開催・出張講座（回数）	参加者
富坂	ふれあいサロン礪川 「終活」のはじめ方（1回）	20
大塚	医療と介護のための交流会 兼 在宅療養推進委員会（1回）	64
	ハートフル小会議（1回）	5
	かづさやなごみカフェ健康相談（6回）	34
	東洋大学ゼミ～認知症家族交流会・多世代交流～（1回）	15
	大塚小学校～高齢者の身体的特性を知る～（1回）	60
駒込	昭和小学校～高齢者のことを知ろう！～	60
富坂・大塚 本富士・駒込	認PAKU～認知症に寄り添う機器展～（1回）	325
富坂・大塚 本富士・駒込	介護予防展（1回）	400

(エ) 連絡会等への出席

a 連絡会議等への出席

センター	出席先（回数）
富坂	シエルブルー運営会議（12回）
	シエルブルー勉強会（1回）
	シエルブルーカフェ（7回）
	介護医療地域連携会議（1回）
	権利擁護支援連携協議会実務者会議（3回）
	ひきこもり支援関係機関連携強化検討会（1回）
	地域福祉活動計画策定委員会（7回）
大塚	シエルブルー運営会議（5回）
	シエルブルーカフェ（2回）
	シエルブルー連絡会（3回）
	ちいきみまもり連絡会（8回）
	在宅診療推進会議（2回）
	権利擁護支援連携協議会実務者会議（2回）
	高齢者相談係・社会福祉協議会との連絡会（12回）
	文京区居住支援協議会（1回）
地域包括支援センター保健師・看護師交流会（1回）	
本富士	シエルブルーMTG（3回）

センター	出席先 (回数)
本富士	シエルブルー運営ミーティング (6回)
	シエルブルーカフェ (4回)
	認知症になってもつながり続けられる地域づくり検討会 (4回)
	シエルブルー勉強会 (2回)
	本富士地区弁護士連絡会 (2回)
	文京区自殺対策推進会議 (4回)
	権利擁護支援連携協議会実務者会議 (8回)
駒込	シエルブルー運営会議 (2回)
	精神障害者支援機関実務者連絡会 (2回)
	認知症施策検討部会 (2回)
	8050問題検討部会 (1回)

b 地域密着型サービス 運営推進会議への出席

センター	参加回数 (回)
富坂	41
大塚	13
本富士	9
駒込	8
計	71

オ 地域ケア会議の開催

地域ケア個別会議では、何らかの課題を抱えた個別ケースについて、本人への支援に関わる総体的な内容について検討し、地域ケア連絡会議では、地域ケア個別会議の積み重ねから地域課題を抽出し、圏域単位の地域づくり・資源開発による地域課題の解決に向けた検討をした。

出席者は、会議内容に合わせて、弁護士、大学教授、保健医療関係者、銀行、民生委員、話し合い員、住民組織、介護支援専門員、介護サービス事業者、地域福祉コーディネーター、高齢者あんしん相談センター職員、行政職員等である。

【5年度地域ケア会議開催状況】

センター	名称	内容
富坂	地域ケア個別会議 (4回)	事例確認会で抽出した地域課題について、解決に向けた検討を行った。
	地域ケア連絡会議 (2回)	個別ケア会議で議論した内容から抽出した地域課題について検討を行った。
大塚	地域ケア個別会議 (4回)	個別事例の課題に対して、意見交換等を行った。
	地域ケア連絡会議 (2回)	地域の見守り力の拡充や地域住民との情報共有などの地域課題について意見交換を行った。
本富士	地域ケア個別会議 (4回)	提出された個別ケースについて話し合い、地域の課題について検討を行った。
	地域ケア連絡会議 (2回)	地域課題整理と地域ネットワークづくりや資源開発に向けての意見交換を行った。
駒込	地域ケア個別会議 (5回)	孤立防止の取り組みについて検討を行った。

カ 認知症に対する取組

(ア) 相談・支援件数

(単位：件)

センター	内容	延べ件数
全センター	認知症相談	4,816
	認知症コーディネーター対応相談	1,044
	認知症コーディネーター訪問支援	160
	もの忘れ医療相談（訪問相談対応）	24 (8)

(イ) 認知症に関する講演会・出前講座

(単位：人)

センター	テーマ	内容	参加者
富坂	認知症専門医長谷川和夫 父との対話～気持ちを伝え 合うケア 暮らしの中で学 んだこと～	【内容】 認知症専門医である故 長谷川和夫先 生と娘さんの写真・動画を交えながら、家族 としての想い、接し方についての講演会 【講師】 南高まり氏（精神保健福祉士）	50
大塚	高齢期の財産管理について ～生活・身上保護に配慮し た財産管理～	【内容】 老後の健康や財産管理の不安、認知 症の親の財産管理の方法等、高齢者のお金の 管理についての講演会。 【講師】 八谷博喜氏（中央大学研究開発機構 教授）	24
本富士	成年後見制度と家族信託に ついて	【内容】 成年後見制度と家族信託のメリット・ デメリットについて 【講師】 渡部 伸氏「親なきあと」相談室/行 政書士・社会保険労務士	10
駒込	もの忘れ？認知症？気にな ったときの相談について	【内容】 ものわすれ？認知症？気になった時 の相談について 【講師】 加勢田美恵子氏（駒込かせだクリニ ック医師）	20
計			104

(ウ) ぶんにご (文京認知症コミュニティ：文京区版認知症カフェ) の開催

センター	開催回数	参加者 (人)
富坂	11	59
大塚	6	94
本富士	9	160
駒込	3	49
計		362

認知症のご本人、ご家族、地域の方等、誰もが集い話せる場である。

(エ) 認知症サポーター養成講座

センター	開催回数	参加者 (人)
富坂	15	483
大塚	11	201
本富士	9	190
駒込	6	152
計		1,026

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を地域で温かく見守る応援者である。講師は、認知症について専門的研修を受講したキャラバンメイトが務めている。

(オ) 認知症家族交流会・介護者教室等の開催

a 認知症家族交流会

(単位：人)

センター	テーマ	参加者
富坂	「高齢者の栄養について」と情報交換・交流	9
	「高齢者の金銭管理について」と情報交換・交流	5
大塚	笑いによる健康増進と地域交流	100
	認知症について多世代で学ぼう	35
本富士	「音楽療法って認知症の方に効果あるの？」のお話と生歌唱の鑑賞後、龍岡会アート部と参加者同士の交流や情報交換	8
	成年後見制度と家族信託についての講演会后、参加者同士の交流や情報交換 ※講演会と同時開催	8
駒込	認知症の方を介護している家族同士で交流	7
	認知症の方を介護している家族同士で交流	0
計		172

b 介護者教室

(単位：人)

センター	テーマ	参加者
富坂	聴こえの知識と補聴器の選び方	22
	転倒予防のための歩行と住環境整備のポイント	17
大塚	スマホで歩行を分析、正しい歩き方を知ろう	17
	臨床美術体験で認知症予防	8
本富士	高齢者施設の基礎知識・選び方	18
	介護者のセルフケア	8
駒込	老い支度講座 もしもに備える最期の迎え方～任意後見から法定後見まで～	19
	老い支度講座 老後のお金の備え	42
計		151

キ 熱中症予防の取組

(ア) 熱中症対策事業集計

(単位：件)

事業内容	富坂	大塚	本富士	駒込	計
電話による啓発	0	0	0	89	89
戸別訪問（訪問時不在によるポスティングを含む）	113	446	683	523	1,765
計	113	446	683	612	1,854

(イ) 出張講座等（熱中症予防講座等）（単位：人）

センター	開催回数	参加者
富坂	7回	111
大塚	22回	276
本富士	12回	103
駒込	23回	678
計		1,168

(2) 認知症施策総合推進事業（認知症地域支援推進員及び嘱託医の配置）

認知症の方やその家族が住み慣れた地域で安心して生活を継続していくため、区に認知症地域支援推進員2人を配置するとともに、地域の認知症サポート医（都の認知症サポート医養成研修を受講した医師）を区の嘱託医として4人（日常生活圏域ごとに1人）配置している。

認知症地域支援推進員及び嘱託医は、高齢者あんしん相談センターの認知症支援コーディネーターと連携しながら、地域の認知症支援体制の構築に必要な事業の総合的な推進に取り組んでいる。

令和5年度の取組の主な成果については、(1)の④の力のとおりである。

(3) 生活支援体制整備事業

地域の多様な主体によるさまざまな生活支援サービス（助け合い活動等）の体制整備を進めるために、社会福祉協議会に生活支援コーディネーター（地域福祉コーディネーター・相談支援包括化推進員と兼務）を配置している。

生活支援コーディネーターは、担当する地域の関係者のネットワークや既存の取組・組織等も活用しながら、高齢者の生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート業務に取り組んでいる。

令和5年度の取組の主な成果については、1（2）の③のイのとおりである。

3 任意事業

(1) 事業者運営指導等

保険者としての運営指導は、利用者の自立支援及び尊厳の保持を念頭におき、介護サービス事業者を支援することを基本として、介護給付等対象サービスの質を確保するとともに、法令を遵守し、適正な制度運営を目的とし、実施している。

運営指導は、平成16年度から行っており、地域密着型サービス及び施設サービスの事業者には、特に利用者への処遇面や衛生管理、非常災害対策に重点を置いた指導を行い、また、居宅サービス事業者等に対しては、法令遵守、適正化の観点を含むサービス等の質の向上を図るよう指導を行っている。そのほか、介護保険事業者が遵守すべき法令のポイントを集団指導で周知するとともに、ケアプラン点検事業を実施し、ケアマネジャーがより質の高いケアプランの作成ができるように事業者ごとに個別指導を行っている。

①運営指導実施状況

(単位：事業所)

		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
サービスの種類	居宅介護支援	7	3	4	4	7
	通所サービス	5	1	—	0	3
	訪問サービス	6	2	3	2	3
	短期入所サービス	1	—	1	3	2
	地域密着型サービス	8	4	5	3	11
	施設サービス	2	—	—	1	3
	その他（福祉用具貸与等）	1	—	—	1	2
	総合サービス事業	—	—	—	2	6
合計		30	10	13	16	37

※4年度より、実地指導から運営指導へ事業名を変更。サービスの種類には、介護予防サービスを含む。

②ケアプラン点検事業の実施状況

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
実施事業所数	11	－	2	10	9
参加人数（人）	53	－	8	29	30

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2年度中止及び3年度一部中止。

(2) 給付費通知

適正なサービス提供及び保険給付費の請求が行われているかを利用者自らが確認するため、サービス利用者全員に対して年2回給付費通知書を発行する。

【給付費通知書発行状況】

(単位：件)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
第1回	7,104	7,144	7,244	7,382	7,509
第2回	7,318	7,279	7,402	7,509	7,695
合計	14,422	14,423	14,646	14,891	15,204

(3) 認知症介護教室

①認知症家族交流会

認知症の方を介護する家族等の交流や情報交換を目的とした交流会を実施している。

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
実施回数（回）	7	5	8	8	8
参加者（人）	98	49	68	70	172

②介護者教室

介護についての正しい知識や介護方法を学ぶための介護教室を実施している。

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
実施回数（回）	8	3	8	8	8
参加者（人）	203	32	113	138	151

(4) 行方不明認知症高齢者ゼロ推進事業

認知症の症状による行方不明への備えや行方不明となった場合の早期発見及び早期保護を図るため、以下の事業を実施している。

①ただいま！支援登録

申請に基づき認知症の症状により行方不明になるおそれのある方の情報を登録し、区、区内警察署及び高齢者あんしん相談センターで情報を共有することで、保護された際の迅速な身元判明につなげる。

(各年度末現在 単位：件)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
登録者数	89	119	136	149	168

②ただいま！支援SOSメール

ただいま！支援登録の登録者などが行方不明となった際に、予め登録した地域の協力者に一斉にメールを配信し、捜索に協力いただくことで、行方不明者の早期発見・早期保護につなげる。

(各年度末現在 単位：件)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
協力者数	699	745	808	852	901

③おでかけ見守りシールの配付

認知症の症状による行方不明が心配で、「ただいま！支援登録」を申請済みの方を対象に、おでかけ見守りシールを配付している。衣服等に貼った二次元コードを発見者が読み取ると、ご家族等へ通知メールが届くとともに、発見者と家族がインターネット上の伝言板を通じて簡単なやりとりを行うことができる。

(単位：人)

	3年度	4年度	5年度
配布者数	15	2	7

④靴用ステッカーやアイロンシールの配付

認知症の症状により行方不明になることが心配な方に、保護された際の身元判明に役立つ靴用ステッカーや衣服用アイロンシールを配付する。

(単位：人)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
靴用ステッカー	38	48	37	21	22
アイロンシール	31	47	38	22	22

⑤「うちに帰ろう」模擬訓練

認知症の方に対する地域の対応力向上、見守り機能強化のため、認知症の症状による行方不明事案が発生したことを想定した声かけ対応等の模擬訓練を実施する。

令和5年度は、駒込地区町会連合会協力のもと、駒込地域活動センター及びその周辺地域で開催した。

⑥高齢者GPS探索サービス事業

介護保険認定が要支援又は要介護で、認知症の症状により行方不明になる可能性のある方を対象に、GPSの専用端末を利用した探索サービスの申込に係る初期費用を助成する。令和2年度から協定事業者が増え、2種類のGPS端末から選択して申請する。

助成実績については、以下のとおりである。

(単位：件)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
持ち運び型	0	2	2	6	3
靴収納型	—	4	4	1	1

(5) 成年後見制度利用支援事業

判断能力が不十分な認知症高齢者で身寄りがないなどの理由で成年後見制度の申立てが期待できない場合、区長が審判の申立てを行う。また、後見人等の審判の申立てを行った者に対し、申請に基づき後見人等報酬費用を助成する。

(単位：件)

区長申立 件数	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	20	30	26	32	29

(介護保険制度の地域支援事業としての実施分)

後見人等 報酬	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	10	8	14	17	16

(介護保険制度の地域支援事業としての実施分)

(6) 住宅改修支援事業

ケアマネジャーがついていない利用者が住宅改修申請を行う際に、申請に必要な理由書を作成した福祉住環境コーディネーター2級等の有資格者が所属する事業者に対して、理由書作成費の補助を行う。

【補助状況】

(単位：件)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
補助件数	32	45	39	36	57